



JPI催しのご案内

2020
9

公益社団法人日本包装技術協会

— 研究会の参加申し込み方法について —

JPIホームページより参加登録をお願いします。

Web上での研究会(ウェビナー)となります。ご参加用URLは研究会開催前日までに、メールで送付致します。

●開催要領

日 時 令和2年9月16日(水) 15:00~17:00 / 9月17日(木) 15:00~17:00 / 9月29日(火) 15:00~16:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：3,300円(1部会、税込) **定 員** 300名

9月16日(水) 15:00~17:00

【テーマ】お米のプラスチック“バイオマスレジン”の可能性

株式会社バイオマスレジン南魚沼は、国産バイオマスプラスチック樹脂製造を生業とし、主にお米(非食用米)を原料とした「ライスレジン」の生産を行っています。トウモロコシ由来やサトウキビ由来は海外に依存しなければならず、世界規模で発生している脱プラスチックの流れから日本国内向けバイオマスプラスチックの供給問題に直面しています。国内で安定・定量的に生産されるのは「お米」です。お米の生産過程で発生する砕米・くず米、醸造所で発生する米粉等を活用しており、エネルギー起源CO2の観点からも国産バイオマスプラスチックには優位性があるものと考えています。ライスレジンにはPeople株式会社(バンダイ・ナムコグループ)の「お米の積み木シリーズ(お米率51%)」や日本郵便の「レジ袋(お米率30%)」、地方自治体の「指定ごみ袋(お米率10%)」等に使用されています。社会環境の劇的な変化により、国内外からの問い合わせが増えており、バイオマスレジンの機能要件や実例と目指すべき将来像などについて説明させていただきます。

【講師】株式会社 バイオマスレジンマーケティング 代表取締役

中谷内 美 昭 氏

9月17日(木) 15:00~17:00

【テーマ】バイオプラスチック — 業界の展望と最近の研究開発動向 —

实体经济の効率を優先する必要性から、環境問題への本格的な対応は後回しにされてきましたが大きな転換点を迎えています。環境問題への取り組み方が企業のブランドイメージを左右するようになり、消費者の購買意欲への影響も大きくなりました。パッケージング業界も例外ではなく、材料の面からはプラスチックの代替素材への転換が検討されています。全く異なる素材へのシフトは現実的に難しく、既存の石油由来プラスチックから植物などを出発原料としたバイオプラスチックへの転換が目立っています。バイオプラスチックはサステナブルでカーボンニュートラル、かつ、種類によっては高い生分解性を有する、といった魅力的なコピーが一部に浸透しつつあります。一定数の消費者はバイオプラスチックであることを購買意思決定の一要因にすることも見受けられるようになりました。しかし、バイオプラスチックの分野は技術的に成熟しているとは言えず、これまで各企業が石油由来プラスチックで培ったノウハウが直接適用できないといったケースが見受けられます。バイオプラスチックの種類によっては、供給ルートが限定的で購買が安定しない、といった実務的な問題も耳にします。本講演を通し、バイオプラスチック業界の全体像と最近の研究開発の動向を紹介し、如何にしてバイオプラスチック業界の今後を見通していくかについて考えていきたいと思います。

【講師】京都工芸繊維大学 フェロー (BioLogiQ Inc. Innovation Manager)

中 嶋 元 氏

9月29日(火) 15:00~16:30

【テーマ】環境問題に対応する包装用プラスチックフィルム

COVID-19の世界的な大流行を受けて世界中が復興に向けた過程にあり、各国での経済復興計画が検討されている。気候変動対策はこれらの計画にも組み込まれるなど、全ての企業にとって気候変動問題を含めた環境問題への対応は不可避の課題となりつつある。気候変動対策、海洋プラスチック問題への対応について、日本では環境省によるプラスチック資源循環戦略のマイルストーンへの適合が目標となる。プラスチック使用量の4割を占める各種包装材料での対応は特に重要であるが、環境問題に対し材料面だけでは対応しきれずサプライチェーン全体での対応が必要な点は指摘されている。全体最適化の中で包装用材料に対し今後必要とされていくと考えられる点について当社製品の紹介を交えて報告する。

【講師】東洋紡株式会社 パッケージング事業総括部 パッケージング開発部 マネジャー

清 水 敏 之 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、研究会開催3日前までにお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン研究会(ウェビナー)になります。申し込みは当会ホームページの研究会参加申込ページより登録いただくようお願いいたします。申込者には後日「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ませんのでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <http://www.jpi.or.jp/index.html>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <http://www.jpi.or.jp>

東京オリンピック・パラリンピックが2021年7月に延期されることに伴い、東京ビッグサイトより東ホールの利用制限(禁止)の要請を受け会場が西1~4ホール、南1~4ホールに変更となりました。

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2021
TOKYO PACK 2021

2021東京国際包装展

会期 **2021年2月24日(水)▶26日(金)** 3日間

会場 **東京ビッグサイト
西1~4ホール、南1~4ホール**

主催 **公益社団法人日本包装技術協会**

出展申込締切:**2020年8月31日(月)**

申込受付中! 本展ホームページにて
申込が可能です。

<http://www.tokyo-pack.jp>

本展ホームページ
QRコード



出展対象分類

- 包装資材・容器 ■包装機械 ■印刷・包材加工機械
- 食品・医薬品・クリーン関連機材 ■検査・計測・環境関連機材
- 包装デザイン&サービス
- 次世代テクノロジー・包装・物流ソリューション

来場者対象業種

- 食品・飲料・農林・水産 ■医薬品・化粧品・トイレタリー
- 日用品・雑貨 ■化学・繊維・衣料 ■鉄鋼・機械・電気・自動車
- 流通・商社・物流サービス ■包装産業
- その他・研究機関・一般・学生

前回開催実績

出展社数……700社・団体
出展小間数……2,609小間
来場登録者数…62,488名
総入場者数…209,049名



TOKYO PACK 2021 開催概要

名称	TOKYO PACK 2021 -2021 東京国際包装展- TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2021
会期	2021年2月24日(水)~26日(木) 3日間
開場時間	10:00 ~ 17:00 (来場登録受付開始9:30)
会場	東京ビッグサイト (東京国際展示場) 西1~4ホール/南1~4ホール
テーマ	未来(あす)を拓く 包みのテクノロジー ~Working towards a healthy planet~
目的	包装資材、包装機械から包材加工機械、食品機械、関連機器類、環境対応機材、物流機器類に至る生産・包装・流通の技術振興をはかるとともに、相談や交流および包装の最新情報発信の場として、国際的な視野に立った社会の発展に資することをもって目的とする。
主催	公益社団法人日本包装技術協会 (JAPAN PACKAGING INSTITUTE)
後援	経済産業省/日本商工会議所/日本貿易振興機構/日本生産性本部/ アジア生産性機構/世界包装機構/アジア包装連盟/日本包装機械工業会/ 日本マテリアル・ハンドリング (MH) 協会/東京ビッグサイト (いずれも申請予定)
協賛	包装関連約100団体

お問い合わせ先

TOKYO PACK 2021事務局
(公益社団法人日本包装技術協会内)

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL:03-3543-1189 FAX:03-3543-8970 E-mail:t-pack@jpi.or.jp

 公益社団法人日本包装技術協会